



校長室だより

月立小学校 校長 鹿野田忠之
令和3年6月28日 発行
第 3 号

言葉の力…

私たち人間は、他の人とコミュニケーションを図ったり、自分の考えを伝えたりするのに、言葉を使っています。言葉を使わない生活は想像できません。

学校で子供たちと生活していると、言葉の大切さを痛感させられる場面に出会うことがあります。ちょっとした言葉で友達を傷付けたり、友達に傷付けられたり。反対に、ちょっとした言葉に友達から勇気をもらったり、友達に勇気を与えたり…

題には「言葉の力」と書きましたが、本当に言葉に力があるかどうか、科学的な根拠をもち合わせていませんが、「言葉」には、大きな影響力があると私は思っています。

以前読んだ『子供が育つ魔法の言葉（ドロシー・ロー・ノルト、レイチャル・ハリス著）』という本の中に載っていた文章を紹介します。

けなされて育つと、子供は人をけなすようになる
とげとげした家庭で育つと、子供は乱暴になる
不安な気持ちで育てると、子供も不安になる
「かわいい子だ」といって育てると、子供はみじめな気持ちになる
子供を馬鹿にすると、引込みじあんな子になる
親が他人を羨んでばかりいると、子供も人を羨ましがるようになる
叱りつけてばかりいると、子供は「自分が悪い子なんだ」と思ってしまう
励ましてあげれば、子供は自信をもつようになる
広い心で接すれば、きれる子にはならない
誉めてあげれば、子供は、明るい子に育つ
愛してあげれば、子供は、人を愛することを学ぶ
認めてあげれば、子供は、自分が好きになる
見つめてあげれば、子供は、頑張り屋になる
分かち合うことを教えれば、子供は、思いやりを学ぶ
親が正直であれば、子供は、正直であることの大切さを知る
子供に公平であれば、子供は、正義感のある子に育つ
やさしく、思いやりをもって育てれば、子供は、やさしい子に育つ
守ってあげれば、子供は、強い子に育つ
和気あいあいとした家庭で育てば、子供はこの世の中はいいところだと思うようになる



この文章を読んだとき、子供たちに関わる全ての大人が気を付けていく必要があることだと感じました。私たち教職員もしっかり意識しながら、「マイナスの言葉」ではなく「プラスの言葉」をたくさん掛けながら子供たちと接していきたいと思っています。

月立っ子ギャラリー

今月も子供たちは楽しく、そして一生懸命学校生活を送りました。
子供たちの元気な様子を御覧ください。

ホームページでは、子供たちの様子を毎日公開しています。ぜひ
そちらも御覧ください



市内体育祭 6年生大活躍



タブレットを学習の中に取り入れています



中学年 大豆播き しっかり土を掛けて



低学年 サツマイモ植え 大きくなあれ



プール掃除 高学年はプールの中をゴシゴシ



プール掃除 低学年は落ち葉集め